

情報考古学会 シンポジウム 2011

「考古学研究における3D技術の応用と課題」

日時：9月10日（土）13時～16時

場所：同志社大学 東京オフィス・セミナールーム

□13:00 開会の辞

□13:05 大会委員長挨拶

□13:15 講演会

1) 13:15～13:40（発表20分＋質疑応答5分）

「考古資料の形情報を可視化する技術」

千葉史（株式会社ラング）

2) 13:40～14:05（発表20分＋質疑応答5分）

「エジプト、ギザにおける3D計測の調査事例と課題」

河江肖剰（名古屋大学大学院）

3) 14:05～14:30（発表20分＋質疑応答5分）

「水中考古学と3D測量技術」

Randall Sasaki（テキサスA&M大学大学院博士課程）

4) 14:30～14:55（発表20分＋質疑応答5分）

「3Dバーチャルワールドの活用と課題」

廣田吉三郎（創和システム）

□14:55～15:10 休憩

□15:10～15:50 シンポジウム・ディスカッション

□15:50～16:00 総評・閉会の辞

〒100-0004

東京都千代田区大手町2丁目6番2号 日本ビルヂング5階566区

TEL：03-3516-7577



同志社大学 東京オフィス

